



八王子 JAZZ DAY 2024

「参加者が主役」がモットー。
市民主催の音楽イベントが
10月26日(土)に開催決定!

今年で第4回目を迎える「八王子 JAZZ DAY」を主催する「八王子ジャズフェスティバル実行委員会」は、ジャズ好きメンバーが集まって2019年に発足。ジャズの普及を目指し市内で活動しています。「ジャズは誰でも自由に楽しめる音楽です」と話す実行委員会のお二人にお話を伺いました。

ジャズ仲間で立ち上げた 実行委員会と音楽イベント

北澤さん 2019年の八王子音楽祭で知り合ったメンバーで「八王子ジャズフェスティバル実行委員会」を立ち上げました。従来のジャズフェスにとらわれない市民音楽祭を目指し、2021年から「八王子 JAZZ DAY」を企画・運営しています。「教育・町おこし・世代間の交流」を3本の柱として活動中です。
野原さん 知識や哲学で語られることもあります。ジャズはもともとポピュラーミュージック。性別や年齢を問わず、誰でも気軽に楽しめる音楽なんです。昨年のイベントでは「毎年楽しみにしてきました」と声をいただき、地元で根付いてきた嬉しさを感じました。
北澤さん ジャズは自由と寛容の音楽

で、正解や決まり事はほとんどありません。アドリブ多めもよし、理論的にきちり演奏するのもよしです!今年も市民から演奏者を募集中です。ジャズが得意な人もジャズに挑戦してみたい人も、応募をお待ちしています!
野原さん 今年は初の試みとして、小学生以下と中高生を対象にした2つのワークショップを8月に行います。ジャズの歴史は、楽しく自由な演奏から始まったといわれています。楽器未経験の子どもも参加OKなので、ぜひジャズの魅力を皆さんに知ってもらいたいですね。
北澤さん ジャズならではのアドリブ演奏では即興の演奏を創造していくため、同じ演奏は2度と聴けません。ホールでは飛び入りOKのセッションも予定しています。演奏者と観客で一体になって、楽しい音楽を作り上げていきましょう!

八王子ジャズフェスティバル 実行委員会

北澤一也さん
二代目会長。自身も演奏ではベースを担当。演奏で使う被り物コレクションが豊富!

野原優子さん
大学時代からジャズ好きな広報担当。都内で女性のためのジャズサークルも主宰



INFORMATION

サポーター、協賛企業、イベント運営ボランティアも募集中!

八王子 JAZZ DAY 2024
10月26日(土)

- 会場 学園都市センター12階イベントホールほか、JR八王子駅北口周辺2~3か所
- チケット一般発売日 8月24日(土)
- チケット料金 1,000円 (学園都市センターイベントホール公演のみ、自由席。小学生以下無料)



みんなでジャズのリズムを楽しもう!
8月10日(土)ワークショップ開催!

楽器経験不問! / 譜面が読める人! / 対象年齢

ジュニア部門 / ティーンエイジャー部門

詳細は左記二次元コードからcheck!
※各回定員あり/先着順となりますのでご了承ください。

東京交響楽団 第11回八王子定期演奏会



梅田俊明 (指揮)

11月4日の演奏会に向けて、出演者の皆様にお話を伺いました!

スメタナ生誕200周年ですが、連作交響詩「わが祖国」の魅力は? 吟遊詩人のハーブが奏でられると、いつもタイムスリップしたような感覚に包まれて、スメタナの原点をたどって何度か訪れたチェコの思い出がよみがえります。自然描写からは光と影、風と樹木の香り、舞曲からは民族衣装をまとった人々の表情に想像が膨み、聴力を失ったものなお書き続けたスメタナの愛国心に感動を覚えます。

梅田さんから見た、東京交響楽団は、どんな印象ですか?
演奏中もオフステージも雰囲気があるくフレンドリーな印象です。パートやセクションとしての音楽的主張が心地よく、様々な面でパランスの良いオーケストラに思えます。

Program

- 至極のオペラ名曲選
『魔笛』より序曲、『ラ・ボエーム』より『私が街を歩くと』、『カルメン』より『花の歌』、『椿姫』より『乾杯の歌』(ほか)
- スメタナ生誕200周年
『わが祖国』より『モルダウ』(ほか)
- 公演についての詳細は8ページをご覧ください。

ます。毎回一体感を持って音楽できるところがとても魅力的です。

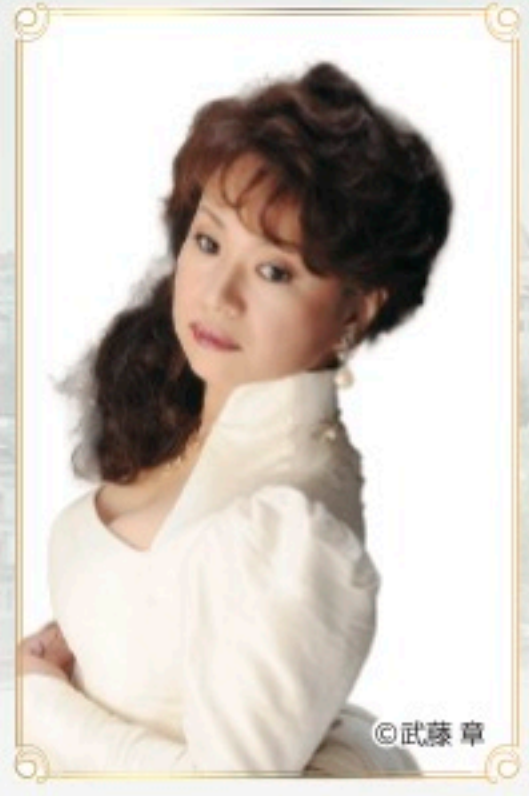
八王子公演に向けてお客様にメッセージをお願いいたします。

スメタナの代表作「わが祖国」には、当時恵まれた環境にあるとは言えなかったチェコの独立への渴望が根底にあり、それはどの国に生まれて育った人々にも共感を得られる強いエネルギーに満ちていると思います。佐藤美枝子さんと錦織健さんが歌い上げる有名なオペリア同時刻に味わえるのも大変贅沢な企画だと言えます。

素晴らしい響きのホールで体感いただけますようお待ちしております。

今回の名曲セレクションの中で、特に思い入れのあるオペラ作品はありますか?

かつての国際コンクールの二次予選で歌った曲が「ラクメ」の鐘の歌でした。その頃から歌い続けること四半世紀、この「鐘の歌」は声楽的なあらゆるテクニックを駆使しながら音楽的に表現する難曲。一度聴いていただければ、生涯忘れないのでは?と思うほど印象的な楽曲です。私の思い出深く、歌い続けたい大好きな一曲です。



佐藤美枝子 (ソプラノ)

「魔笛」のタミーノは大好きな役です。遠い異国を表すためかスコアに、日本の狩衣を着た王子と、とはつきり記してあるのでハマリ役と威張りたところ。

1992年に出演した文化村オペラ「魔法のふえ」は日中合作でした。佐藤信さんの演出により平安貴族風のタミーノが三國志の時代みたいな中国に迷い込む設定が楽しかったですね。



錦織 健 (テノール)